

## ニッコウイワナの棲む川

---

県内北西部の山地には、在来の水産資源であるニッコウイワナが棲んでいます。最近の遺伝子分析によって、利根川水系や那珂川水系上流のいくつかの支流には、放流魚と交雑していない純系のニッコウイワナが残されていることが分かっています。

貴重なニッコウイワナを将来にわたって保全し、釣りの対象として利用していくために、水産試験場では的確な資源量評価手法の開発や、輪番休漁制(漁場の休漁と開放を数年おきに繰り返す方法)の効果判定などの研究に取り組んでいます。

調査のために、いくつかの河川でニッコウイワナの採集を行うと、魚の多い川、少ない川、稚魚が多い川、魚は多いけど産卵した形跡が見あたらない川など、ニッコウイワナが置かれている環境の様々な状況が見えてきます。ニッコウイワナの生息に望ましい環境、望ましくない環境を調べることも調査目的の一つで、今後の調査から色々なことが分かると思います。しかし、一つ確からしいことは、川の水やニッコウイワナは森によって支えられているということです。隣り合う支流間でも、周辺の森の状況によって、ニッコウイワナの数や肥満度(摂餌量の指標値)は、どうやら違いがあるようです。イワナ釣りに行かれる方は、是非周辺の森の状況も観察しながら、釣れるイワナの量や大きさを比較してみてください。

